

大消費地で地産地消が実現！

## 東京の農業

都市地域、山間地域、島しょ地域と各エリアの自然環境を生かした特色ある農業が営まれている。都市地域では消費地に近いという最大の利点を活かし、生産された多種多様な農作物の約8割は近隣の直売所で販売されている。特に、果樹栽培が盛んな地域が多く、オリジナル品種も栽培されている。江戸時代から東京で栽培されてきた「江戸東京野菜」は歴史や文化を今に伝える。また農業は生産活動のみでなく、様々な機能を有する。例えば東京にも水田があり、その美しい田園風景は人々の心を和ませている。さらに、農地には気温上昇を緩和する効果や、災害時の一時避難場所としての利用、火災の延焼防止といった防災機能などがあり、様々な面で評価されている。



23区エリアで栽培されている江戸東京野菜の「シントリ菜」や「亀戸ダイコン」

都市地域では少量多品目農業が特徴的



島しょエリアの各島で栽培されているアサタバはお茶やお菓子など加工品も

急峻な斜面で多摩産材が育つ

## 東京の林業

秩父山系と丹沢山系に接する西多摩エリアを中心に東京都の総面積の約4割は森林が占めており、東京都の林業を支えている。多摩地域で生産された木材は「東京の木多摩産材」と呼ばれる。急峻な斜面で長い年月をかけて高品質な多摩産材を生育していくには、下刈りや枝打ち、間伐などの森林作業が欠かせない。林業は木材を住宅や燃料や紙などに利用することで我々の生活に役立つだけでなく、苗を植え、育て、また伐って使うという森林循環を促進し、林業によって美しく保たれた森は水・大気・景観・静けさなど都市の快適環境を育む源泉となる。木々の根や土がスポンジのように雨水を吸収する森はいわば『みんなの防波堤』であり、生き物のすみかであり、人々の憩いの場という大切な役割も担っている。



多摩地域の森林を守るため、東京都では多摩産材の使用を推奨しており、都内各所で体感できる。上野の森 PARK SIDE CAFE (左) 東急池上線戸越銀座駅駅舎 (右)



数十年という歳月をかけて育てられる多摩産材



枝打ちなどの手入れが節の少ない木材を生む

# 東京の農林水産業の特徴

海の幸と川の幸

## 東京の水産業

複雑な海底地形や黒潮の恩恵を受ける島しょエリアは日本有数の好漁場。さまざまな漁法を用い、新鮮な海の幸が水揚げされている。独特の匂いや風味をもつ発酵液に魚を浸して天日干しする水産加工品「くさや」も特徴的。一方東京内湾でも漁業が行われており、このエリアで獲れた魚介類は「江戸前」と呼ばれ人気がある。また多摩川などの河川では漁協による魚の放流などで美しい河川環境が保たれ、アユ、ヤマメ、イワナ、ニジマスなどが泳ぐ。養殖も盛んで、「奥多摩やまめ」といった新種の開発もなされている。清流沿いにはニジマスやアユ釣りなどを楽しめる釣り場も多く点在する。



「溪流の女王」と呼ばれるサケ科のヤマメ



島しょエリアは特にキンメダイが特産

特別編集

### 東京の農林水産

発行／公益財団法人 東京都農林水産振興財団

企画・編集・制作／株式会社 JTB パブリッシング

©2020公益財団法人 東京都農林水産振興財団／JTB Publishing,inc.All Rights Reserved.

もっと知りたい農林水産業の旬な情報は、  
サイトでチェック！

東京の農林水産総合サイト



TOKYO GROWN

トウキョウグロウ



※本誌掲載のデータは2020年8月末のもので、発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は、補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいませ。

※本誌掲載の入園料などは大人料金を掲載しています。※本誌掲載の料金は、原則として取材時点で確認した消費税込みの金額です。※定休日は原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。※利用時間は特記以外原則として開店(館)～閉店(館)です。オーダーストップや入店(館)時間は通常開店(館)の30分～1時間前です。※交通情報については、天災の影響や季節などにより変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問い合わせください。